

宜 議 第 4 3 0 号
令和元年12月5日

議長
上地 安之 殿

福祉教育常任委員会
委員長 山城 康弘

委員会審査結果について（報告）

第422回定例会において、本委員会に付託された案件の審査を終了いたしましたので、各案件の報告書及び会議録の写しを添えて、委員会条例第29条の規定により、その結果を報告いたします。

1. 委員会活動

期 間 期 日	会 議 月 日	備 考
令 和 元 年 6 月 1 1 日	令 和 元 年 6 月 1 1 日	陳情第14号、議案第35号、議案第33号 議案第39号
令 和 元 年 6 月 1 2 日	令 和 元 年 6 月 1 2 日	陳情第11号、陳情第12号、議案第35号 議案第33号、議案第39号、陳情第1号 陳情第6号、陳情第7号、陳情第8号 陳情第8号、陳情第10号、陳情第11号 陳情第12号、陳情第14号、
会議日数 2 日 間		

事件一覧及びその結果

議案番号	件名	付託月日	議決月日	結果
議案第33号	令和元年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第1号)	令和元年 6月10日	令和元年 6月12日	原案可決 (全会一致)
議案第35号	宜野湾市介護保険条例の一部を改正する条例について	令和元年 6月10日	令和元年 6月12日	原案可決 (全会一致)
議案第39号	小学校ICT機器購入に係る物品の取得について	令和元年 6月10日	令和元年 6月12日	原案可決 (全会一致)
陳情第1号	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情	平成30年 10月10日	—	閉会中の 継続審査
陳情第6号	こども医療費助成制度の拡充を求める陳情	平成30年 10月10日	—	閉会中の 継続審査
陳情第7号	「後期高齢者の窓口負担の見直し」にあたり、原則1割負担の継続を求める意見書採択についての陳情	平成30年 10月10日	—	閉会中の 継続審査
陳情第8号	平成31年度福祉施策及び予算の充実について	平成30年 10月10日	—	閉会中の 継続審査
陳情第10号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める陳情	平成31年 3月1日	—	閉会中の 継続審査
陳情第11号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情	平成31年 3月1日	—	閉会中の 継続審査
陳情第12号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める陳情	平成31年 3月1日	—	閉会中の 継続審査
陳情第14号	沖縄県民の生活を守るためにも国保制度改善を求める陳情	令和元年 6月10日	—	閉会中の 継続審査

福祉教育常任委員会会議録（要旨）

○開催年月日 令和元年6月11日（火）1日目

午前10時02分 開会

午後 3時56分 散会

○場 所 第1常任委員会室

○出席委員（7名）

委員長	山城 康弘
委員	伊佐 文貴
委員	玉城 健一郎
委員	伊波 一男

副委員長	屋良 千枝美
委員	栄田 直樹
委員	呉屋 等

○欠席委員（1名）

委員	宮城 力
----	------

○説明員（13名）

総務部長	泉川 幹夫
指導部長	川上 一徳
国民健康保険課長	伊佐 真
国民健康保険課庶務係長	大道 優
介護長寿課事業管理係長	嘉手納 江利子
介護長寿課保険料担当主査	寄川 久里子
はごろも学習センター管理係長	祝 博紀

健康推進部長	崎間 賢
契約検査課長	高江洲 強
契約検査課契約係長	松川 奈津子
国民健康保険課保険税係長	富濱 祐敏
介護長寿課認定給付係長	饒平名 文治
介護長寿課長寿支援係長	志良堂 孝

○議会事務局職員出席者

主任主事	棚原 裕貴
------	-------

○審査順序

別紙のとおり

【審査順序】

- | | |
|--------|----------------------------|
| 陳情第14号 | 沖縄県民の生活を守るためにも国保制度改善を求める陳情 |
| 議案第35号 | 宜野湾市介護保険条例の一部を改正する条例について |
| 議案第33号 | 令和元年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第1号) |
| 議案第39号 | 小学校ICT機器購入に係る物品の取得について |

6月定例会（福祉教育常任委員会）

令和元年6月11日（火）第1日目

- 山城康弘 委員長 ただいまから福祉教育常任委員会を開会いたします。
(開会時刻 午前10時02分)

【議題】

陳情第14号 沖縄県民の生活を守るためにも国保制度改善を求める陳情

～質疑・答弁～

- 玉城健一郎 委員 均等割について説明をいただきたい。
- 国民健康保険課長 世帯の人数に応じて課税されるものである。世帯割には所得がない世帯員の人数も計上される。
- 玉城健一郎 委員 均等割りの1人あたりの金額は1万4,300円でよいか。
- 国民健康保険課長 そのとおりである。
- 玉城健一郎 委員 過去2年の差し押さえ処分は何件か。
- 国民健康保険課長 平成30年度は128件、平成29年度は156件である。
- 玉城健一郎 委員 差し押さえ禁止額はいくらか。
- 国民健康保険課長 納税者本人は10万円、世帯員は1人当たり4万5,000円である。
- 玉城健一郎 委員 差し押さえ処分の執行を判断する際には、基準となる滞納額等があるのか。
- 国民健康保険課長 金額の基準はないが、督促状、催告書の送付など、差し押さえ処分に至るまでの納税折衝のプロセスはある。
- 玉城健一郎 委員 国保税額の改定についてはどのくらい議論が進んでいるのか確認したい。
- 国民健康保険課長 県は令和6年度までに国保税の全県統一化を目指している。現在の1人当たりの標準国保税の県平均額は約9万円となっており、本市の1人当たりの平均額より約1万2,000円多い額である。統一化すると想定した場合は、この差額を埋める必要があるため、その分税額を引き上げなければならないと考えている。しかし1万2,000円というのは大きな金額であるため、一部は一般会計からの法定外繰り入れで補う必要もあると考えている。
- 玉城健一郎 委員 陳情にあるように、国庫補助金が増額することで均等割の廃止、もしくは減額をすることは可能なのか。

- 国民健康保険課長 補助金の規模によっては均等割の廃止、減額ができる可能性もある。
- 玉城健一郎 委員 国保税改定の時期や金額についての具体的な議論も進んでいるのか。
- 国民健康保険課長 国保運営協議会に国保税の改定についての諮問を行っている。
- 呉屋等 委員 陳情書に記載されている要望の①については、全国市長会からも同様の要望が上がっているのか。
- 国民健康保険課長 全く同じ文言の要望ではないが、国庫負担割合の引き上げなど、①に近い内容の提言がなされている。
- 呉屋等 委員 国保制度の改正について、国会での審議情報などは把握しているか。
- 国民健康保険課長 今のところ具体的な情報は入っていない。
- 呉屋等 委員 均等割の廃止を法律の改正ではなく政令で行うことは可能か。
- 国民健康保険課長 把握していないため、確認が必要である。
- 呉屋等 委員 国保税の引き下げについて、全国市議会議長会の動きに関する情報はあるか。
- 国民健康保険課長 全国市議会議長会の動きは把握していない。
- 伊佐文貴 委員 今の赤字が解消されたとしても、医療費が増加し続けることでさらなる赤字がふえていくのか。
- 国民健康保険課長 本市でも被保険者数は減少しているが、1人当たりの医療費が増加している状況なので、公費拡充等で一度赤字が解消したとしても、高齢化や医療の高度化に伴い医療費が増加し、再び赤字が発生する可能性がある。
- 伊佐文貴 委員 今以上に医療費を抑制しなければならないので、新たな取り組みが必要だと感じるが、いかがか。
- 国民健康保険課長 医療費抑制に関する短期的な対策は困難であるため、長期的にこれまでの対策を継続して取り組む必要があると考えている。また、一般会計からの繰り入れが今後も必要と考えているので、市の収入をふやす対策を行い、一般会計も強化しなければならない。
- 伊波一男 委員 県内に国保会計が黒字となっている市町村は存在するのか。
- 国民健康保険課長 うるま市やいくつかの町村は黒字である。
- 伊波一男 委員 県では6年後に市町村の税率を統一すると計画しているが、それまでには各市町村の赤字が解消される見込みはあるのか。
- 国民健康保険課長 公費拡充により少しは赤字の改善を見込めるが、税率を統一しただけでは黒字にならないと考えている。
- 伊波一男 委員 国保税の額が県の示す平均値に近い金額の市町村はどこか。

- 国民健康保険課長 11市の中では浦添市が一番近い金額で、8万8,176円となっている。町村だと北谷町が平均に近い数字となっている。
- 伊波一男 委員 陳情で要望のある①～④は、現状の国保制度の課題を正確に捉えたものとなっているのか。
- 国民健康保険課長 捉えていると感じる。
- 屋良千枝美 委員 陳情に記載のある「保険証を取り上げられる」というのはどのような状況なのか。
- 保険税係長 本市では保険証を取り上げるということはない。国保税に滞納がある場合には短期証を交付する場合がある。無保険状態というのは保険証の更新を行わなかった場合などが考えられる。また、資格証を交付された場合は一度全額負担をしてもらうが、ここ数年交付実績はない。
- 屋良千枝美 委員 本市でも保険証の更新がなく無保険の状態であったことを理由に通院できず、死亡に至った事例はあるのか。
- 保険税係長 把握している限りそのような事例はない。しかし、保険証の交付を受けていたとしても3割の医療費負担はあるので、その医療費が払えず、通院を控えているという状況は考えられる。18歳未満の被保険者については世帯主の滞納がある場合でも本手帳を交付している。
- 屋良千枝美 委員 納付相談を行う際は、世帯の生活状況の確認も行っているのか。
- 保険税係長 納付相談を通してできる限り把握している。また、他部署で活用できる制度などがあれば担当課につなぐこともある。

《委員長交代あり》

- 山城康弘 委員 陳情書の1行目に記載されている共同保険者という表現は正しいのか。
- 国民健康保険課長 そのとおりである。
- 山城康弘 委員 陳情書に記載されている「差し押さえ禁止財産」についてはどのように解釈しているか。
- 国民健康保険課長 全国的に差し押さえ禁止財産が差し押さえられた事例があるので、禁止された財産は差し押さえないようにという主趣と解釈している。
- 山城康弘 委員 陳情の要望④に一般会計からの繰り入れは禁止されていないと記載があるが、その表現は正しいのか。
- 国民健康保険課長 さまざまな解釈があるので、一概に判断することはできない。

《委員長交代あり》

【審査結果】

質疑の段階で継続審査とする。

○山城康弘 委員長 休憩いたします。（午前11時19分）

○山城康弘 委員長 再開いたします。（午前11時21分）

○山城康弘 委員長 午前の会議はこれで終わり、午後は2時から会議を開きます。
その間、休憩いたします。（午前11時21分）

***** 午後の会議 *****

○山城康弘 委員長 再開いたします。（午後2時00分）

これより、午後の会議を進めてまいります。

【議題】

議案第35号 宜野湾市介護保険条例の一部を改正する条例について

～質疑・答弁～

○玉城健一郎 委員 今回の条例改正は、消費税の改正に伴い保険料の軽減強化を行うものであるとの説明があったが、議案第33号の令和元年度介護保険特別会計補正予算(第1号)にも影響するのか。

○健康推進部次長 そのとおりである。

○玉城健一郎 委員 消費税の改正が延期になった場合はどのような対応をするのか。

○健康推進部次長 今回の改正は10月に消費税が10%に改正されることを前提に行われている。

○玉城健一郎 委員 消費税が改正されなかった場合でも条例を改正するという認識でよいか。

○健康推進部次長 消費税の改正延期に伴い介護保険法施行令の改正も延期されるなどの措置がとられた場合は、宜野湾市介護保険条例も、それに沿った形で見直される可能性がある。

【審査結果】

質疑の段階で継続審査とする。

○山城康弘 委員長 休憩いたします。（午後2時10分）

○山城康弘 委員長 再開いたします。（午後 2 時 1 2 分）

【議題】

議案第 3 3 号 令和元年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第 1 号)

～質疑・答弁～

- 玉城健一郎 委員 保険料の軽減強化を補うことで市の財政的な負担も増加するの
か。
- 健康推進部次長 軽減強化に伴う支出の 4 分の 1 は市が負担する。その分について
は国からの補助などはないが、消費税増税に伴い特別地方消費税の収入が増加する
ことが考えられる。
- 玉城健一郎 委員 普通徴収の現年度分とはどのような保険料を表しているのか。
- 健康推進部次長 その年に賦課された保険料が現年度分であり、令和元年度に賦課
された保険料が現年度分に当たる。平成30年以前に賦課されている保険料について
は過年度分となる。
- 玉城健一郎 委員 保険料軽減改正についてはいつ被保険者へ周知するのか。
- 健康推進部次長 今回、軽減強化の対象となるのは所得段階が第 1 段階から第 3 段
階の限られた被保険者であり、その方々については 7 月初旬に発送予定となってい
る通知書にチラシ等を同封して周知を行う予定である。

【審査結果】

質疑の段階で継続審査とする。

○山城康弘 委員長 休憩いたします。（午後 2 時 5 0 分）

○山城康弘 委員長 再開いたします。（午後 2 時 5 9 分）

【議題】

議案第 3 9 号 小学校 I C T 機器購入に係る物品の取得について

～質疑・答弁～

- 伊佐文貴 委員 電子黒板の機能について説明していただきたい。
- 指導部次長 第一常任委員会室に設置されている黒板より少しコンパクトなサイズ
となっており、パソコンから画像などを映写して、視覚的に表現する機能がある。
- 伊佐文貴 委員 静止画だけではなく映像も表示できるのか。

- 指導部次長 可能である。
- はごろも学習センター管理係長 次長が説明した機能のほかにもインタラクティブ機能が搭載されており、画面を直接触って操作や書き込みが可能となっている。
- 伊佐文貴 委員 通常の黒板に比べると耐久性に難があると思うが、破損を避けるための対策などは考えているのか。
- はごろも学習センター管理係長 家庭用の液晶テレビよりは頑丈なつくりとなっている。
- 玉城健一郎 委員 電子教科書の導入予定はあるか。
- はごろも学習センター管理係長 令和2年度以降に予算化し導入する予定である。
- 玉城健一郎 委員 以前中学校に電子黒板を導入した時の価格と比較して安くなっているのか。
- はごろも学習センター管理係長 中学校に導入したのはプロジェクタータイプのものであり、今回導入する液晶タイプと価格を比較することは難しい。
- 玉城健一郎 委員 プロジェクタータイプと液晶タイプの比較を行った上で導入を検討したのか。
- はごろも学習センター管理係長 文科省から平成30年度以降の学校におけるICT機器整備についての通知が出されているので、それをもとに学校現場から意見を聴取して購入を検討した。
- 柴田直樹 委員 電子黒板の導入で学力の向上も望めるのか。
- 指導部次長 効果的な授業を行い、論理的思考力とプログラミング的思考力を育成するために電子黒板を導入している。新学習要領にも同様の内容が記載されている。具体的な学力の向上率を示すことはできないが、教育現場と協力し、学力の向上に努めたい。
- 柴田直樹 委員 電子黒板の導入で子供たちの成績が上がっていくことを期待している。
- 玉城健一郎 委員 中学校では必要数を満たす数の電子黒板を設置しているのか。
- はごろも学習センター管理係長 導入時は基準を満たす数を設置していたが、数年経過し文科省の方針も変わっているので、現在は足りない状況である。
- 玉城健一郎 委員 今回は14台設置しているが、設置率はどのくらいなのか。
- 指導部次長 全ての教室に対する設置率は約半分である。
- 玉城健一郎 委員 予算が足りないことが原因か。
- 指導部次長 そのとおりである。今後の設置については教育現場の声も確認しながら検討する。
- 玉城健一郎 委員 デジタル教材送受信装置についても説明いただきたい。
- はごろも学習センター管理係長 デジタル教材送受信装置については、動画やPD

F、電子教科書などの教材データを簡易に呼び出すことができ、呼び出したデータを電子黒板へ表示し、電子黒板を使いやすくするための装置である。

- 玉城健一郎 委員 電子黒板1台につき、送受信装置は1台必要なのか。
- はごろも学習センター管理係長 そのとおりである。
- 玉城健一郎 委員 送受信装置は4台の購入となっているが、残り10台の電子黒板は使用できないのか。
- はごろも学習センター管理係長 送受信装置と対になっていない電子黒板についてはパソコンを利用して使用する。
- 玉城健一郎 委員 中学校には送受信装置は設置されているのか。
- はごろも学習センター管理係長 中学校に電子黒板を設置する際には送受信装置が存在しなかったため、未配置である。
- 玉城健一郎 委員 ブルーレイディスクプレイヤーはどのように使用するのか。
- はごろも学習センター管理係長 音楽室に設置し、音楽鑑賞等の授業で用いる予定である。
- 玉城健一郎 委員 予算的な問題もあると思うが、今後は全ての教室に電子黒板を設置できるよう検討していただきたい。
- 呉屋等 委員 予定価格の設定はどのように行ったのか。
- はごろも学習センター管理係長 業者から見積もりをもらい、ICT支援専門員と研究をしながら予定価格を設定した。
- 呉屋等 委員 何社から見積もりをとったのか。
- 指導部次長 2社から見積もりをとった。
- 呉屋等 委員 予算の設定については積み上げ方式で行ったのか。
- はごろも学習センター管理係長 そのとおりである。
- 呉屋等 委員 補助率はどのくらいか。
- はごろも学習センター管理係長 80%である。
- 呉屋等 委員 文科省の補助ではなく一括交付金を利用したということは、前年度で見積もりをとり、積み上げ方式で設定した予算の要求を行ったと理解してよいか。
- はごろも学習センター管理係長 そのとおりである。
- 呉屋等 委員 予定価格の公表は事前に行うのか。
- 契約検査課長 最低制限価格を設定する場合には公表するが、今回は最低制限価格の設定が必要な契約ではなかったため事前に公表していない。
- 呉屋等 委員 見積もりを出した業者も指名業者に加えるのか。
- はごろも学習センター管理係長 そのとおりである。
- 呉屋等 委員 見積もりを出した業者は、事前公表されていない予定価格をある程度予想できる恐れはないか。

- はごろも学習センター管理係長 予定価格を立てる際には業者からの見積もり額を参考にして、それよりも低い金額を予定価格に設定した。
- 呉屋等 委員 市外の業者を指名した経緯を伺いたい。
- はごろも学習センター管理係長 仕様書の条件を満たす機器を用意できる業者が市内にはわずかだったため、今回は市外の業者も指名している。
- 指導部次長 補足での説明となるが、仕様書の条件を満たす機器を用意できる業者が市内には1社しかなかった。その後、準市内、市外と指名業者の範囲を広げたため、今回の指名に市外業者も入っている。
- 呉屋等 委員 購入後のメンテナンスも契約業者が行うのか。
- はごろも学習センター管理係長 機器には5年間の保証がついており、保証期間中のうち、1年間はメーカーの保証、4年間は契約した業者がメンテナンスを行うこととなる。
- 玉城健一郎 委員 電子黒板や書画カメラはどのくらいの期間で入れかえとなるのか。
- はごろも学習センター管理係長 今のところ入れかえ等の計画はないが、教育現場の利活用の状況を確認しながら計画する。
- 玉城健一郎 委員 本庁舎で使用しているパソコンは入れかえ期間があると思うが、電子黒板や書画カメラも同じようなかたちで入れかえを行うのか。
- 総務部次長 電子黒板や書画カメラは文科省の整備方針に基づいて設置しているので、第2次包括的ITアウトソーシング事業の期間とは別になっている。
- 屋良千枝美 委員 機材については、一度はごろも学習センターに納品されるが、そこから各学校へ支給されるという認識でよいか。
- はごろも学習センター管理係長 研修用のものははごろも学習センターとなっているが、各学校の機材に関してはそれぞれに納品されることとなっている。
- 屋良千枝美 委員 各学校には8月31日までに納品されるということでよいか。
- はごろも学習センター管理係長 その予定である。
- 屋良千枝美 委員 実際授業で使用するのは9月からになるのか。
- はごろも学習センター管理係長 授業で使用する前に操作の研修を行い、9月中には使用できるようにしたいと考えている。
- 屋良千枝美 委員 機材を配置する教室については実際に使用する教職員間で決めるのか。
- はごろも学習センター管理係長 理科室と音楽室には直接設置し、そのほかの機材については教室ではなく各フロアに設置する予定である。
- 屋良千枝美 委員 設置場所に関する資料の提供をお願いしたい。
- 指導部次長 まだ設置に関する取り決めを行っていないため、資料は提供できない。

- 伊波一男 委員 2社が入札を辞退しているが、理由を確認したい。
- 契約検査課長 株式会社興洋電子については指定した機材が提供できないため、沖縄パナソニック特機株式会社は電子黒板の納品が指定納期に間に合わないためである。
- 伊波一男 委員 入札額が予定価格を上回った場合は失格となるのか。
- 契約検査課長 今回の契約では入札額が予定価格を上回った場合でも失格となることはない。
- 伊波一男 委員 機材の設置などは夏休み期間中に行うのか。
- 指導部次長 夏休み期間中に設置し、2学期には稼働できるようにしたいと考えている。
- 伊波一男 委員 業者への支払いはどのタイミングで行うのか。
- はごろも学習センター管理係長 請求書を受領した日から30日以内に支払いを行う。
- 伊波一男 委員 それぞれの業者が提供する商品には金額以外の違いはあったのか。
- はごろも学習センター管理係長 違いはなかった。

【審査結果】

質疑の段階で継続審査とする。

-
- 山城康弘 委員長 本日の委員会を散会いたします。（散会時刻:午後3時56分）

福祉教育常任委員会会議録（要旨）

○開催年月日 令和元年6月12日（水）2日目

午前10時00分 開会

午前10時37分 閉会

○場 所 第1常任委員会室

○出席委員（7名）

委員長	山城 康弘
委員	伊佐 文貴
委員	玉城 健一郎
委員	伊波 一男

副委員長	屋良 千枝美
委員	栄田 直樹
委員	呉屋 等

○欠席委員（1名）

委員	宮城 力
----	------

○説明員（3名）

健康推進部長	崎間 賢
介護長寿課長 長寿支援係長	志良堂 孝

介護長寿課 認定給付係長	饒平名 文治
-----------------	--------

○議会事務局職員出席者

主任主事	棚原 裕貴
------	-------

○審査順序

陳情第11号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情

陳情第12号 介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める陳情

議案第35号 宜野湾市介護保険条例の一部を改正する条例について

議案第33号 令和元年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第1号)

議案第39号 小学校ICT機器購入に係る物品の取得について

陳情第1号 臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情

陳情第6号 こども医療費助成制度の拡充を求める陳情

陳情第7号 「後期高齢者の窓口負担の見直し」にあたり、原則1割負担の継

続を求める意見書採択についての陳情

陳情第 8号 平成31年度福祉施策及び予算の充実について

陳情第10号 看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める陳情

陳情第14号 沖縄県民の生活を守るためにも国保制度改善を求める陳情

6月定例会（福祉教育常任委員会）

令和元年6月12日（水）第2日目

○山城康弘 委員長 福祉教育常任委員会の第2日目の会議を開きます。

（開議時刻 午前10時00分）

【議題】

陳情第11号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情

～質疑・答弁～

- 伊波一男 委員 介護職の環境改善で国や県はどのような対策を行っているのか。
- 認定給付係長 介護職員処遇改善加算という加算がついている。事業所によりランクが異なるが、ランクに応じた加算金をつけるよう県から各事業所へ助言を行っている。
- 伊波一男 委員 加算額はランク別に決まっているのか。
- 認定給付係長 加算1については月額3万7,000円相当、加算2については月額2万7,000円相当、加算3については月額1万5,000円相当というおおよその目安は国が定めているが、加算の配分は事業所の任意となっているのが現状である。
- 伊波一男 委員 市内に加算の対象となる事業所は存在するか。
- 認定給付係長 介護職員が雇用されている事業所は全て対象となる。
- 伊波一男 委員 事業所の規模により加算の単位数は変動するのか。
- 認定給付係長 加算の単位数は一律である。勤める介護職員の人数で配分額が変動することはある。
- 伊波一男 委員 本市には介護サービスを受けることができる入所型の施設はいくつあるのか。
- 認定給付係長 特別養護老人ホームが3カ所、介護老人保健施設が1カ所、認知症対応型のグループホームが7カ所、有料老人ホームが約20カ所ある。
- 玉城健一郎 委員 市内の事業所から介護職員不足の声は上がっているのか。
- 認定給付係長 事業所からは慢性的な人員不足の声が上がっている。介護職員が離職し人員不足に陥ると、募集をかけても新たな介護職員が見つからないのが現状である。
- 玉城健一郎 委員 待遇面は一定の水準を満たしているにもかかわらず人員が確保

できないということか。

- 認定給付係長 処遇改善をしっかりと行っている事業所でも厳しい状況である。
- 伊波一男 委員 陳情項目2に「医師・看護師・医療技術者・介護職を増員すること」と記載されているが、国家資格が必要な職の人員をふやすということについて、どのように考えているのか。
- 認定給付係長 国が指定している職員の基準の定数枠を増加してほしいという趣旨で考えている。
- 伊波一男 委員 夜勤の場合、現在は入所者9人に対して看護師を1人配置することとなっているのか。
- 認定給付係長 グループホームに関してはそのとおりである。
- 伊波一男 委員 入所者9人に対して2人の看護師を確保した場合、増員分の人件費については国や県からの補助金があるのか。
- 認定給付係長 補助金はない。
- 玉城健一郎 委員 市外のグループホームには、入所者9人に対して看護師を2人配置している事業所があるのか。
- 認定給付係長 国が定めている基準なので全国一律である。
- 玉城健一郎 委員 国や県からの補助がない状態であると、人件費を市が負担することはないので事業者の負担となる認識でよいか。
- 認定給付係長 介護報酬の範囲を超えた分については事業者負担となる。
- 伊波一男 委員 夜勤で入所者9人に対して看護師1人が対応している状況であるが、その環境での業務が多忙であることを理由に看護師を辞める人もいるのか。
- 認定給付係長 夜勤の業務が多忙であるという理由で退職した事例は伺っていない。

【審査結果】

質疑の段階で継続審査とする。

-
- 山城康弘 委員長 休憩いたします。（午前10時19分）
 - 山城康弘 委員長 再開いたします。（午前10時20分）
-

【議題】

陳情第12号 介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める陳情

～質疑・答弁～

- 玉城健一郎 委員 最低賃金は業種別に設定されていると思うが、介護従事者という

項目も存在するのか。

- 認定給付係長 今のところ介護従事者という項目での最低賃金は設定されていないと思われる。
- 玉城健一郎 委員 介護従事者の時給の平均額は把握しているか。
- 認定給付係長 時給の平均額はわからないが、介護従事者の処遇は改善されてきていると感じる。
- 伊波一男 委員 国や県が介護従事者の特定最低賃金を決めた場合には、人件費の増加分に対する補助がつく可能性もあるのか。
- 認定給付係長 補助についてはわからないが、消費税の増税に伴い介護報酬が引き上げられるという情報を得ているので、介護報酬が上がることで利用者の負担が増加することが考えられる。

【審査結果】

質疑の段階で継続審査とする。

- 山城康弘 委員長 休憩いたします。（午前10時30分）
 - 山城康弘 委員長 再開いたします。（午前10時33分）
-

【議題】

議案第35号 宜野湾市介護保険条例の一部を改正する条例について

【質疑終結】

【討論】

なし。

【審査結果】

全会一致で原案のとおり可決すべきものと決する。

【議題】

議案第33号 令和元年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算（第1号）

【質疑終結】

【討論】

なし。

【審査結果】

全会一致で原案のとおり可決すべきものと決する。

【議題】

議案第39号 小学校ICT機器購入に係る物品の取得について

【質疑終結】

【討論】

なし。

【審査結果】

全会一致で同意すべきものと決する。

【議題】

陳情第 1 号 臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情

陳情第 6 号 こども医療費助成制度の拡充を求める陳情

陳情第 7 号 「後期高齢者の窓口負担の見直し」にあたり、原則 1 割負担の継続を求める意見書採択についての陳情

陳情第 8 号 平成 31 年度福祉施策及び予算の充実について

陳情第 10 号 看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める陳情

陳情第 11 号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情

陳情第 12 号 介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める陳情

陳情第 14 号 沖縄県民の生活を守るためにも国保制度改善を求める陳情

【閉会中の継続審査申出】

上記 8 件について、閉会中もなお継続審査を要するため議長に申し出ることになった。

○山城康弘 委員長 本委員会を閉会いたします。 （閉会時刻 午前 10 時 37 分）